

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

上下水道総務課

実施方針	Ⅲ 下水道施設の適切な管理	施策目標	1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	施策	③ 人材の確保と民間活用手法の研究
------	---------------	------	-----------------------------	----	-------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	職員に対する研修の充実や資格取得を積極的に促進するとともに、必要に応じ、組織体制の見直しについて検討します。また、適切な維持管理を行う手法の一つとして、下水道施設の維持管理に関する民間活用についても研究します。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①職員に対する研修の実施や資格取得の促進をします。 ②下水道施設の維持管理に関する民間活用についての情報収集を行います。							
期間	平成31年4月		～	令和2年3月				
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	2,402	2,402	0	1,457	1,457	0	61%
	工事費	0	0	0	0			
	原材料費	0	0	0	0			
	委託料	0	0	0	0			
	賃借料	0	0	0	0			
	その他	2,402	2,402	0	1,457	1,457		61%
人件費	790	790	0	790	790		100%	
どういう成果を達成するか【成果指標】	①職員に対する研修の実施や資格取得の促進ができた状態。 ②下水道施設の維持管理に関する民間活用についての情報収集を行った状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①職員に対し、研修の受講や資格取得を促した。有料の研修について、7月末で9人が8講座を受講済みである。 ②下水道施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行った。					
77点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①研修費について、7月末時点での予算執行率は約6%であるので、積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促す。 ②下水道施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての更なる情報収集を行う。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	148千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	
		予算執行率	6%		評価者結果	B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういう成果を達成したか【達成状況】	①職員に対し、研修の受講や資格取得を促した。有料の研修について、全20講座22名の職員が受講した。 ②下水道施設の維持管理等の包括的民間委託について、具体的な事例の情報収集を行った。					
77点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	①積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促す。 ②引き続き、民間活用について研究する。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	16	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	16	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	15	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						3	3
終了	15	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						4	4	
中間	16	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	16	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						4	4	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						4	4	
中間	15	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						3	3
終了	15	成果	成果指標を上まわっていますか？						4	4
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	3	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	15	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						4	4
終了	15	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						4	4

5 事後評価

指標				R1	R2	R3
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出していない	評価者結果
達成度	B	他事業体の事例の情報収集を行い、民間活用について研究できた。 下水道各課より研修の参加があり、積極的な研修の受講ができた。	B
効率性	B	他事業体の事例を収集することで、民間活用の例示の作成がスムーズにできる。 有料講習を活用し、効率的に研修を受講することができた。	B
有効性	B	他事業体の事例を収集することは、今後の民間活用の検討に有効である。 外部講習を活用し、職員の資格取得を推進した。	B
説明責任	B	民間活用の情報収集の状況を、事業評価の結果を上下水道局ホームページに掲載することにより公表した。 積極的に局内各課へ研修情報について情報提供を行った。	B
組織学習	B	他事業体の事例の収集を行うことで組織内のレベルアップを図った。 局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促した。	B
総合評価	B	下水道施設の適切な維持管理を行うため、他事業体の事例の研究を継続していく。 下水道各課から積極的な研修の受講があり、資格取得を推進することができた。引き続き、局内への周知と積極的に研修を受講することができる環境を整えていく。	B

次年度方針  
現状維持で継続